

各 位

会 社 名 プレミアアンチエイジング株式会社
 代表者名 代表取締役社長 松浦 清
 (コード番号：4934 東証グロース)
 問合せ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション本部長
 上原 祐香
 (TEL. 03-3502-2020)

業績予想の修正に関するお知らせ

2022年12月14日開催の取締役会において、下記のとおり、2023年7月期(2022年8月1日~2023年7月31日)の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 第2四半期連結累計期間の業績予想数値の修正(2022年8月1日~2023年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2022年9月13日)	百万円 16,700	百万円 930	百万円 930	百万円 550	円 銭 63.07
今回修正予想(B)	14,500	-	20	△60	△6.88
増減額(B-A)	△2,200	△930	△910	△610	-
増減率(%)	△13.2%	-	△97.8%	-	-
(参考)前期連結実績 (2022年7月期)	17,970	2,248	2,321	1,360	156.01

2. 通期連結累計期間の業績予想数値の修正(2022年8月1日~2023年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年9月13日)	百万円 37,000	百万円 3,000	百万円 2,985	百万円 1,820	円 銭 208.71
今回修正予想(B)	30,000	1,500	1,520	820	94.03
増減額(B-A)	△7,000	△1,500	△1,465	△1,000	-
増減率(%)	△18.9%	△50.0%	△49.1%	△54.9	-
(参考)前期連結実績 (2022年7月期)	33,911	2,414	2,572	1,424	163.35

3. 修正理由

当社の売上の多くを占める「デュオ ザ クレンジングバーム」の第1四半期連結会計期間における売上高は、クレンジング市場及びバーム剤型の競争激化が想定以上に継続していることから、通信販売及び卸売販売ともに減少しました。前回業績予想発表時にも、昨年度の実績を踏まえ、一定の売上減少を見込んでおりましたが、クレンジング市場全体では売上は横ばい傾向にあるものの、競合がオイルやジェル剤型の主力商品をリニューアルし、積極的な広告投資を行ったことから、バーム剤型のシェアが減少しております。加えて、バーム剤型の中でも、各種消費材の値上げにより、競合による安価な類似商品との競争が一層激化しております。これらの要因により、「デュオ ザ クレンジングバーム」から他社製品へ転出する顧客が当初想定を上回って推移しており、第1四半期における当初計画からの減少幅が第2四半期以降も継続することが見込まれます。一方、育成ブランドとして注力している「カナデル」と「クレイエンス」の第1四半期連結会計期間における売上高は、新規獲得が大きく拡大し、前年同期比で伸長しています。しかしながら、当初の想定と比べ、オンライン広告環境が悪化していることを考慮し、筋肉質な企業体質を最優先とするため、広告投資を抑制することから、第2四半期以降の売上高は当初予想をやや下回る見通しとなりました。但し、売上減少の影響額に関しましては、その大半はデュオの売上予想の下方修正によるものです。

また利益面においては、売上高の減少に伴い売上総利益が大幅に減少する見込みですが、広告宣伝費の戦略的運用や物流費等のコスト構造の見直しを図り、全社的なコスト改革を断行していく予定です。

これらの状況を踏まえ、上記の通り業績の見通しを修正いたします。

今後は、中期の売上成長モメンタムは維持しながらも、より一層、利益を伴った成長を持続できる筋肉質な企業体質を目指してまいります。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上